

こんにちは

豊丘村議会です

2024 Vol. 106



第3回臨時会
12月定例会
令和6年1月20日



「次はどうするの？」（伴野区にて）

★第3回臨時会・12月定例会の様子をお知らせします

議長年頭あいさつ	2ページ
特集 政策提言	3～5ページ
条例改正 議案の概要と採決	6・7ページ
補正予算の概要と質疑	8・9ページ
村の考えを問う 一般質問に9人が登壇	10～19ページ
県へ要望の回答は～下伊那北部BL総会～	20～21ページ
議会は今 何しているの?	21ページ
みんなのこえステーション	22ページ
令和5年から令和6年へ	23ページ
みんなのページ・編集後記	24ページ

伝統の
おやす作り
子や孫へ伝えたい



とよおかネットワーク・ホーム

検索



←本会議の動画は
こちらから！





謹賀新年

広聴活動により、 新たな生活スタイルの実現を提言

議長 片桐 忠彦



あけましておめでとうございます。皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中は、議会活動にご理解ご協力、またご指導賜りましたこと、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は、4月に村議会議員の改選がございました。今回から定数2減の12名となり、多くの村民の皆様は選挙戦に期待されていたかと思いますが、しかし定数割れが心配されるほどでしたが、最終的に定数は満たしものの、2回続けての無投票という結果となりました。

今回から、ポスター、広報車等の一部が公費負担となり、立候補しやすくなったにもかかわらず、こうした結果となったことは、定数や経費等とは別の課題があるかと感じました。今後は村民の皆様とともに課題解決に取り組

んでいかなければと思いました。

また昨年は、全国的に、異常気象による高温、少雨、局地的な豪雨等による農作物の被害、水害等各地で発生しました。これからは異常気象ではなく、これが平年並みとなるのではと思われ、これに対応できる農業、産業、社会基盤等の整備が重要となつてくると感じています。

更に、村内においては、物価高止まりの中、村民を取り巻く状況は一層厳しさが増してきています。

議会としてましては、広報広聴を重視し、広聴については各種グループとの懇談を行ない、必要な対策等聞きする中、対応方法を各委員会や議員間で議論し、村、県への提言活動につなげてきました。

今年も、継続しつつ、

さらには地域の方との懇談する機会を作り、地域に合った生活スタイルの構築につなげていけたらと考えています。

広報については、「議会だより」を年4回発行し情報提供に取り組んでいます。発行に当たっては、議会モニターさんのご意見を基に、読んでいただける紙面づくりに、取り組んでいます。

議会としてましては、村民の皆様の声をお聞きし、課題と向き合い、課題解決に取り組む議会としての役割を果たしていく所存でございます。村民の皆様さまの更なるご協力をお願い申し上げます。

結びに、村民の皆様が今年一年ますますご健勝で、ご繁栄されましますことを心から祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

特集

議会からの 政策提言

議会は政策立案や政策提言を通じて村政の発展に取り組みます。(豊丘村議会基本条例第7条抜粋)

なぜ提言は 12月なの？

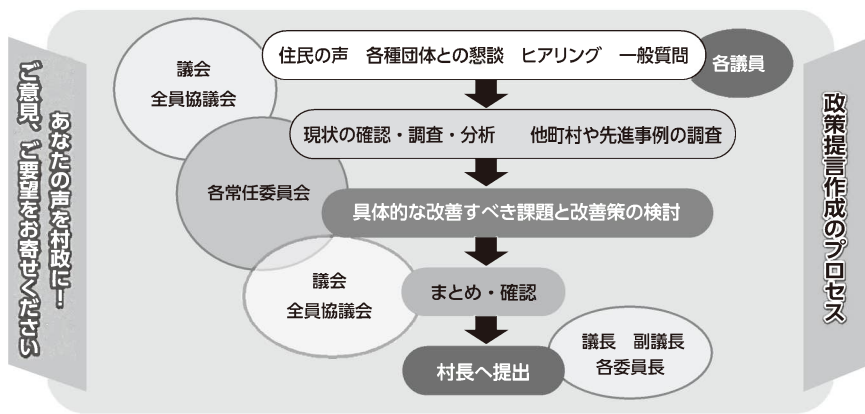
新年度予算編成作業に可能なものを反映していただけるようにお願いするもので、この時期に行っています。

なお、議会は予算の議決権はありますが、執行権限は村長にあることから、議会からの政策提言には行政執行に対する拘束力はありません。

議会では総務産建委員会・社会文教委員会・2常任委員会が所管

分野において、住民の皆様、各種団体等との懇談を逐次実施しています。また、議員といとばた会議や議会だよりモニターさんからのご意見や議会一般質問の中から、各委員会で取り上げるべき課題を抽出します。

それらの課題を解決するために、先進事例の視察や調査などを通じて、新たな施策の実施や既存の施策の改善策を検討し、今後の村政運営に取り入れていただけるように提案するものです。



昨年の政策提言で本年度の事業に 反映されているものを一部紹介します

提言 農地の抱い手対策の推進 ○人・農地プランを計画・実施し、具体的な研究に着手 施策 河野新田地区集落営農検討委員会発足・運営支援 ●勝呂平のグラインガルテン簡易宿泊棟 基本設計委託	提言 猫飼育の適正化 ○適正な飼育・飼養の啓発 ○避妊去勢手術への助成等 施策 広報等で啓発・多頭飼育者へ関与 ●豊丘村猫の不妊去勢手術費補助金 手術の30%補助 上限1頭5千円 ●手術した猫の登録	提言 不登校児童生徒への支援 ○フリースクール利用の支援 施策 フリースクール利用補助 12万円計上
--	---	--

河野新田集落営農検討委員会

クラインガルテンイメージ (松本市の例)

松川町のフリースクール

村民の声を村に

《各種団体との懇談を基に、

小中学校の課題解決への支援を

- (1)特別支援学級に関して、学級の実態に見合った支援員数を確保し、配置すること
- (2)中学校部活動の地域移行に関して、指導者の確保や組織の立ち上げなど、環境整備への支援を早急に進めること

用語解説 「部活動の地域移行」→これまで教員が受け持っていた部活動の指導を、地域のスポーツクラブや外部の団体に任せるなど、国が主導する制度

子育て世代にやさしいトイレを

- (1)公共施設の多目的トイレに、父親の使用も考え、オムツ交換台とベビーキープを設置すること
- (2)子育て支援センターの女子トイレと幼児用トイレを、すべて洋式化にすること

子育て世帯に更なる支援を

- (1)3人目以降の出産祝い金を増額すること
- (2)同時在園でなくても、3人目以降の未満児保育料を無料にすること



見晴らしの良い林公園（柿っ子公園）

地域に即した公園の整備を

- (1)今後も地域住民の声を基にして遊具等の公園整備を続けること
- (2)公園を管理する区等への負担軽減のため、交付金の増額を検討すること
- (3)村内全体の公園整備については、保育園庭も視野に入れること
- (4)保育園庭使用については、随時住民に周知すること

社会文教委員会
特別支援学級への支援員確保、多目的トイレにオムツ交換台の設置、出産祝い金の増額、公園整備の推進

委員長 唐澤 克己

届ける！

主要6項目を提言》

農業関係補助金の見直しについて

- (1)げんき農業支援金事業の補助対象人数を現行の「3人以上」から「2人以上」に緩和し、大型機械の購入補助金の限度額引き上げを行うこと
- (2)農業後継者補助について現行の55歳以下の年齢制限の引き上げと補助金の増額を行うこと

土木行政について

- (1)村単独事業の諸経費計算において、当村は一律50%を計上して予定価格を算出しているが、これを廃止し公共土木積算基準の諸経費計上を行うと共に、現状低く抑えられている最低制限値についても、要領のとおり行うこと
- (2)130万円以下の随意契約案件について、現場調査費の計上を検討すること
- (3)道づくりや災害での崩落処理における重機使用料の時間単価が改定されていないことを改善し、毎年年度当初に業者から見積りを聴取し適正価格で行うこと



林原で進められている宅地造成、道路改良工事



12月20日 村長に提言書を渡しました



総務産建委員会

意欲ある農家のための補助金制度見直しと、物価高騰の状況を踏まえ、村単独土木工事の経費等見直しを提言

委員長 武田 徹

議案第 70 号 手数料条例の改正

自らや父母等の戸籍（除籍）について、本籍地の市区町村以外の市区町村の窓口でも、戸籍謄本等の交付請求が可能になるため、手数料の改正をするもの。

議案第 71 号 豊丘村個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正

健康保険証と個人番号カードが一体化され、希望される方の健康保険証の廃止が令和 6 年秋に予定されている。今後、福祉医療費支給事務において、医療保険情報を得るためには、個人番号による情報連携が必要になることから、独自利用事務として利用する特定個人情報に医療保険給付関係情報と生活保護情報を加えるため、条例の一部を改正するもの。

補正予算**議案第 62 号 令和 5 年度 豊丘村一般会計補正予算 第 6 号**

自転車用ヘルメット購入支援事業（県補助金）。物価高騰対策給付金を住民税非課税世帯に 7 万円の給付をする。また、下記 3 補正予算と同様、人事院勧告に基づく職員給与の増額をする。



自転車用ヘルメット購入に補助

議案第 63 号 令和 5 年度 豊丘村介護保険特別会計補正予算 第 2 号**議案第 64 号 令和 5 年度 豊丘村水道事業会計補正予算 第 3 号****議案第 65 号 令和 5 年度 豊丘村下水道事業会計補正予算 第 2 号**

議案第 66・67・68 号の補正予算については、8 ページを参照ください。

発 議**発議第 6 号 「県施設の整理統合が続く中で、地域の振興に資する施設整備等を求める意見書」の提出について**

「リニア中央新幹線の開業を見据え、県土の均衡ある発展を実現し、若者がこの地域の未来に明るい希望を持てる文化・スポーツ施設の整備を検討したい」と長野県知事に提出する。

全ての議案・発議は出席者の全会一致で可決されました。

第 3 回 臨時会 令和 5 年 11 月 27 日**議案第 56 号 令和 5 年度豊丘村一般会計補正予算 第 5 号**

年度内に完了できない予算を次年度まで繰り越すための繰越明許費として、緊急自然災害防止事業の内、木門井（農業水利防災）・壬生沢線（道路防災）と佐原線（道路改良事業）を実施するもの。



改良工事が進む佐原線

12 月定例会 令和 5 年 12 月 1 日～ 20 日**議案第 57 号 常勤特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の改正****議案第 58 号 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正**

今臨時国会において成立した「特別職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律」で、期末手当の支給月数を 0.1 ヶ月分引き上げられることにより上記 2 条例を改正するもの。

議案第 59 号 一般職の職員の給与に関する条例の改正

人事院勧告に基づき今臨時国会で成立し、交付された国家公務員給与改正関連法に準拠し、職員給与を改正するもの。

議案第 60 号 特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償等に関する条例の改正

農業委員及び農地最適化推進委員が行う農地利用の最適化に資する活動については、その活動実績に基づき国から交付金が交付され、その全額を当該委員の報酬に充てることが可能とされている。現在、活動実績に基づき算定される交付金額は条例に定める報酬額を上回るものとなっており、委員等は活動実績に見合う報酬額を受け入れていない状況であるため、この上回る分を報酬額に上乘せし支給できるよう、条例の一部を改正するもの。

議案第 61 号 国民健康保険税条例の改正

令和 5 年 11 月 1 日以降に出産予定の国民健康保険被保険者の方を対象に、産前産後期間における国民健康保険税の免除措置を講ずるため、条例の一部を改正するもの。

勝負平フラインガルテン宿泊棟 基本設計に着手

予算決算委員会審査での主な質疑

図 ふるさと納税のお礼品不足分 4,300 万円の品目は何か。
図 リンゴと干柿の請求分。松茸は含まない。

図 ケーブルテレビ伝送路撤去工事費の減額（不用額）の理由は。
図 撤去工事であるため最低制限価格を設定していなかった。設計価格より大幅に低額で落札された。

図 庁舎厚生室を会議室に改修することについて、厚生室は必要では。
図 休憩室や宿直室で代用できる。税務、介護等の相談や、夜間の会議に活用できるよう改修したい。課長会で提案し、職員とも共有できている。

図 福祉医療給付費の県補助対象負担の理由は。
図 村単独事業による高校生までの医療給付費 200 万円と県補助対象分を計上。県半額補助対象分 600 万円は全額（小学生までの）子どもの医療費である。

図 猫繁殖制限手術補助金追加 8 万円の内容と今後の見通しは。

図 猫の避妊と去勢手術に対し術費の 30%・上限 5,000 円を今年度より補助するもの。多頭飼いの方に勧奨したため現在まで 54 頭が実施。今後も需要があると見込んでいる。

図 簡易宿泊棟の所有と管理運営方法は。

図 村の資産で村が管理する。人・農地プランに基づき地域や集落の組織による運営が理想である。

図 災害復旧を土砂除去等に対応している部分があるが重機借り上げ料は予算措置しているのか。

図 除雪費不足分を含め 1,000 万円を追加計上している。

図 農地農業用施設災害の災害復旧工事委託料・工事請負費の減額の理由は。

図 土砂除去等の軽微な工事に対応できた現場もあった。また大規模な現場では治山の災害復旧対象となり、他の制度で復旧した。

図 公共土木施設災害復旧事業の減額の理由と、復旧の進捗現状は。
図 村では速やかな復旧のため多めに予算計上した。現場を精査した結果、検討した工法の見込みよりも安価で工事を仕上げることであった。年度内に全て竣工する予定。

図 クラインガルテン簡易宿泊棟の設計委託料 1 棟分の詳細は。

図 6 棟建設する計画の 1 棟分の基本設計料。

図 設計業者選定はどのようにするのか。

図 今回は金額を把握する目的で村内建築業者による指名競争入札、またはコンペも想定している。

図 農業総合振興事業補助金の追加 700 万円の内容は。

図 農業者確保経営支援事業として認定農業者対象に農機具、施設等の導入費補助。物価高騰等や農地保全のため従来の 10%・上限 10 万円を、今年度から 2 分の 1・上限 50 万円に拡充した。

図 道の駅等出荷者野菜づくり視察バス代助成 30 万円の内容は。村外の出荷者も対象としてよいと思うがどうか。

図 直売所出荷者とレストラン出荷者への視察バス代の補助。新潟県上越市の「旬菜交流館あるん畑」の視察を予定している。

図 バス代を全額補助してもいいのではないが。

図 出荷者の年会費を活用し、村からは半額補助を考えている。



旬菜交流館 あるん畑

議案第 66 号一般会計補正予算第 7 号、議案第 67 号介護保険特別会計補正予算第 3 号、議案第 68 号水道事業会計補正予算第 4 号の 3 件が予算決算委員会に付託され、12 月 11 日に委員会審査を行い、全会一致で可決しました。

一般会計補正予算 第 7 号 6,510 万 9 千円を追加

役場庁舎西側外壁に駐車場用の照明設置 500 万円

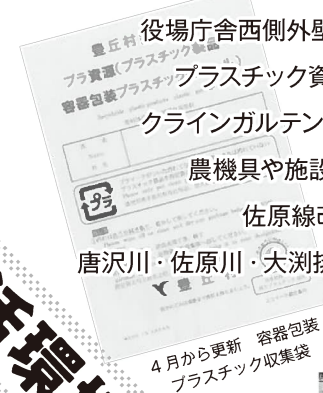
プラスチック資源の収集袋の購入 132 万 8 千円

クラインガルテン宿泊棟 1 棟の設計委託料 50 万円

農機具や施設導入に農業振興補助金 700 万円

佐原線改良・園橋の修繕工事 5,250 万円

唐沢川・佐原川・大淵排水路の改修追加工事 1,000 万円



4 月から更新 容器包装プラスチック収集袋



補助金を受け購入された農機具（土手用草刈機）

介護保険 特別会計補正予算 第 3 号

83 万 2 千円を追加

電算システム保守業務委託料

水道事業会計補正予算 第 4 号



新排水池地質調査と
木門線水道管布設替に
係る起債

1,900 万円を追加

水道管更新工事進捗中



森林整備の課題や展望は

答 進展に応じ、作業道を整備

唐澤 克己 議員

質問 我が国は温暖化防止の重要施策として、令和元年に森林経営管理制度を始めた。施策の進展を願う質問する。森林所有者の意向調査をする際の課題は。

副村長 所有者の抽出と名寄せ作業などデータ整理に手間がかかり、時間を要すること。河野と堀越はすでに実施済みで、今年度は田村地域を予定している。

質問 山林整備の詳細設計をする際の課題は。

副村長 役場には専門職や技術職がいらないので、その都度、県の林務課や森林組合に指導をお願いしている。

質問 実際に山林整備をしていく際の課題は。

副村長 森林整備の主な作業は間伐だが、山中への切り捨て伐採がほとんど。しかし、道路際や道路に面した斜面は、落下の危険もあり、景観にも影響するので、搬出している。整備は業者に委託しており、搬出には伐採と同等か、それ以上の費用を要するため、大きな課題だ。なお、搬出された木材は、地域の方々に呼びかけ、有効に活用している。

質問 山林整備を進めていくには、林道の整備や新設が必要であるが、どのように考えておられるか。

副村長 村内には幹線林道が9路線あり整備されている。改修が必要となれば、随時対処していく。しかし、今後山中に入って整備を進めていくには、幹線林道を起点にして、伐採用の機械等運び、伐採した木材等を搬出する作業道が必要になる。

要望 森林整備は温暖化防止の根本的な対策。ぜひ着実な進展を願う。



猛暑早魃で柿の玉伸びがせず
小玉過ぎて出荷が不可能に

答 果樹は小玉に、農家経営はピンチに

質問 今年、6月当初の豪雨後、一転して猛暑早魃、農産物の生産者にとってはまさに大変な年であった。また、諸物価高騰で、農業資材も上がり、まさに農家にはダブルパンチとなった。今後の対策を考える上で、村内の状況を聞きたい。まず、猛暑早魃で、農作物はどのような影響を受けたか。

副村長 南信州全般でみると、コメは高温障害等で1等米が約80%であった。野菜は収穫量が少なかったが、幸い単価が高値で推移、農協では管理指導を行い出荷量の確保をしたとのこと。果樹も、全般的に小玉であったが、管理指導により、特に柿などは質の高さを維持できたとのこと。

質問 物価上昇が村内の農家に与えた影響は。

副村長 農家の声を聴くと、肥料や農薬等、全てが値上がりし、経営を圧迫しているとのこと。村では、令和4年度に燃料や肥料、農薬等の購入価格補助を行った。また、農作業の省力化や効率化を進めるといふ観点で、認定農業者に農業機械等購入補助の上限を引き上げた。このように、村では、農業という村の基幹産業を衰退させないよう、状況に応じ従事者の意欲の維持向上に努めている。

要望 自然を相手にする農業にとって、温暖化や異常気象はまさに天敵。ぜひ、その防止に森林整備など根本的な対策の強化を願う。

一般質問 — 9人の議員が村政を問う —

(1日目)

- 唐澤 克己 (11 ページ)
 - 森林整備の課題や展望は
 - 猛暑早魃や資材高騰の農業への影響は
- 武田 篤子 (12 ページ)
 - 傾聴ボランティア講座の開催を
 - お悔やみハンドブックを作成しないか
- 酒井 浩文 (13 ページ)
 - 有害鳥獣対策の現状と今後の展望は
 - 高校生通学助成金の内容拡大を
- 平澤 恒雄 (14 ページ)
 - タケノコ除伐も補助対象に
 - マイナンバーカードを使う「書かない窓口」設置を
 - 耳の遠い方のために骨伝導イヤホンの設置を
 - 個人住宅蛍光灯のLED化を支援する考えは
- 唐澤 健 (15 ページ)
 - スマホ教室の開催を
 - 井戸水源に活水器の設置を
- 堀本 文文 (16 ページ)
 - 新事業を活用しての公園整備の検討を
 - 保育園遊具の休日使用は
 - グローブ寄贈を機会に「野球」を楽しむイベントを

(2日目)

- 前沢 光昭 (17 ページ)
 - 加齢性難聴に補聴器の購入補助を
 - 自衛隊員募集名簿に除外申請の導入を
- 壬生眞由美 (18 ページ)
 - 若い世代の多様な働き方の支援は
 - 地域起こし協力隊 退任後の状況は
 - 協力隊等で集落の維持に関わる人材を
- 武田 徹 (19 ページ)
 - 多面的機能支払い交付金制度 3 期目の継続は
 - 佐原線道路改良工事に対する要望は

【一般質問の申し合わせ事項】

- ・ 通告期限は議会運営委員会において会期日程を考慮しつつ、その都度協議、決定する。
- ・ 1 議員の発言時間は30分を限度とし、質問回数は制限しない。
- ・ 発言残り時間5分前に呼び鈴を1回、残り3分前に呼び鈴を2回鳴らす。
- ・ 発言内容は「回答を求める発言」であるか、「提言」であるか明確にする。



鳥獣害対策の現状と今後の展望は

答 頭数管理にたどり着ける対応が必要

酒井 浩文 議員

質問 今だに中山間地の耕作地において、大きな鳥獣被害が出ています。農作物への被害は農業継続の意欲低下を招き、その結果耕作放棄地が増え、さらなる鳥獣被害を招くという悪循環が懸念される。鳥獣対策の環境整備と、総合的な鳥獣被害防止対策への取組が必要である。村内鳥獣被害の現状、近年の傾向と対策は。

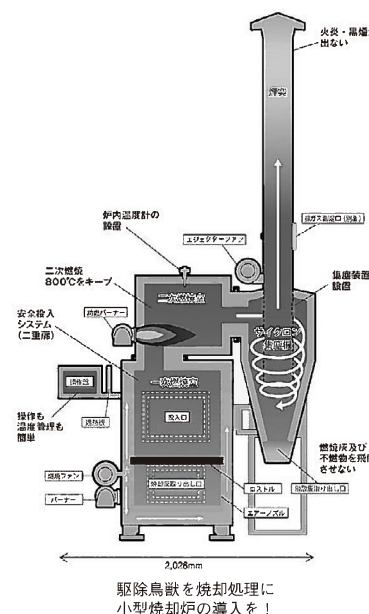
副村長 令和4年度の農産物の被害状況は、水稲や果樹を中心に被害額は約500万円。主な有害鳥獣は、イノシシ、日本シカ、ハクビシン、スズメ、カラス、ムクドリ、ヒヨドリなど。近年の課題は、豚熱が抑えられてきたことによるイノシシの増加。防護柵の内側での被害増大が課題である。

質問 政府による鳥獣被害防止特別措置法の

改正により、被害防止の捕獲を進めるだけでなく、捕獲鳥獣を地域資源（ジビエ等）としての活用拡大が強化された。当村では現在、駆除鳥獣の多くが埋設処理されているが、今後地域資源としてジビエ活用に取り組み意欲はあるか。

副村長 村内では、個人事業者が加工処理施設を設置して、捕獲した有害鳥獣をジビエ加工して販売を行っている。ジビエやペット食としての活用は、有効な手段と認識している。こうした活動を、今後村としても推奨し、必要な支援をしたい。

質問 ジビエ加工は残渣の処理やコストなど、環境整備が大きな課題となる。解決の一つとして、鳥獣ジビエ対策の小型焼却炉の導入を提案する。困窮している猟友会の皆さん



駆除鳥獣を焼却処理に小型焼却炉の導入を！

の省力化、今後増加するカラスや小動物の処理にも有効である。

村長 焼却処理は、機械化により、今後増加するカラスや小動物の処理にも有効である。

副村長 焼却処理は、機械化により、今後増加するカラスや小動物の処理にも有効である。

高校生通学助成金の対象拡大を 答 制度の公平性から見直しを検討

質問 現在の助成金活用状況は。

教育委員会事務局長 「保護者負担の軽減を図るための助成金」であり、令和4年度は148人の申請、合計392万1000円の助成金を交付した。

質問 現在の助成対象が、全日制定時制の高校に通学する生徒であるが、近年通信制の高校に通う生徒が増加している。助成の対象を広げることができないか。

教育委員会事務局長 1人当たりの平均額は約2万6500円。現在助成対象が、全日制定時制の高校に通学する生徒であるが、近年通信制の高校に通う生徒が増加している。助成の対象を広げることができないか。

教育長 県内に通信制高校は15校あり、在籍者も増加している。「通学用定期乗車券」利用の生徒が補助対象となり、「乗車賃」の購入は証明が得られないため補助されない。制度の公平性から見直しが必要であり、令和6年度末には実現できるように要綱の検討を進める。

傾聴ボランティア講座の開催を

答 要望があれば対応したい

武田 篤子 議員

質問 村ではどのようなボランティア活動が行われているのか。

健康福祉課長 無償ボランティアとして18団体延べ323名の方が登録され、ご自分のスキルを活かし自主的に地域貢献いただいている。また「おてこ隊」は50名の方が登録され、30分500円、1時間までの有償で、ゴミ出しや、灯油の補充など、要望されることをボランティアとしていただいている。

質問 高齢者の一人暮らしのかたは年々増えている。高齢者訪問は、2人の職員の方で訪問を行なっているわけだが、現在の訪問該当者の数と、訪問の頻度はどのくらいか。

健康福祉課長 一人暮らし世帯250世帯、高齢者のみの世帯299世帯で、高齢者訪問対象世帯は、549。年一回の訪問

を基本としている。訪問実績は年800回。

質問 サロンの関係者や多くの方に受講してもらい、勉強の場として、また、成り手不足の民生委員を育てる場として、傾聴ボランティア講座を開催していただきたい。

答 現時点では考えていない

質問 年間どのくらいの死亡届を扱うのか。届出人が村外者はどのくらいの割合か。

税務会計課長 令和4年度、123件の届け出があり、うち村外者は約3割の37件。

質問 死亡届の提出に伴う一般的な手続きはどのようなものがあるのか。また、役場内の関係部署はどの課か。

税務会計課長 税務係、計窓口係・税務係、建設環境課環境係・上下水道係、健康福祉課保

健康福祉課長 講座は、ステップアップしていく内容であり、少しハードルが高いため難しいと思う。連絡会で、必要性について検討をする中で、要望があれば対応していきたい。

健康福祉課長 講座は、ステップアップしていく内容であり、少しハードルが高いため難しいと思う。連絡会で、必要性について検討をする中で、要望があれば対応していきたい。



各課での手続きは多岐にわたる

きはどのように行っているのか。

税務会計課長 届け出の際に、行政関係の手続きがある旨の通知をご家族に渡し、ご家族内では、亡くなられた情報を共有し、ご遺族が来庁した際に、各係の担当者が順に必要な手続きを案内している。

質問 長野市では、「お悔やみハンドブック」を9月に作成している。亡くなられた方に関するさまざまな役所での一般的な手続き、役所以外での主な手続き、

多量なゴミの処分の方法、処分料金などについての案内、心の相談の窓口の案内、来年度から、義務化される相続登記についての手続きの案内なども掲載されている。こういった、ハンドブックを村でも作らないか。

税務会計課長 必要な手続きをお知らせしているため、現時点では考えていない。今後ご遺族の方に求められる情報提供について、再度、研究・検討をしていきたい。

タケノコ除伐も、補助対象としないか

答 有効な手段。検討する

平澤 恒雄 議員

質問 竹林整備の補助は、同じ場所を4年目（4回目）以降も対象になっているが、4年目以降の補助金請求の事例はあるか。

質問 竹林整備の補助は、同じ場所を4年目（4回目）以降も対象になっているが、4年目以降の補助金請求の事例はあるか。

質問 竹林整備の補助は、同じ場所を4年目（4回目）以降も対象になっているが、4年目以降の補助金請求の事例はあるか。

質問 竹林整備の補助は、同じ場所を4年目（4回目）以降も対象になっているが、4年目以降の補助金請求の事例はあるか。

質問 竹林整備の補助は、同じ場所を4年目（4回目）以降も対象になっているが、4年目以降の補助金請求の事例はあるか。

質問 タケノコを切り倒して竹林整備をしている場合は、補助対象にならない。タケノコ除伐も補助対象にしたかどうか。

質問 タケノコを切り倒して竹林整備をしている場合は、補助対象にならない。タケノコ除伐も補助対象にしたかどうか。

質問 タケノコを切り倒して竹林整備をしている場合は、補助対象にならない。タケノコ除伐も補助対象にしたかどうか。

質問 タケノコを切り倒して竹林整備をしている場合は、補助対象にならない。タケノコ除伐も補助対象にしたかどうか。

質問 タケノコを切り倒して竹林整備をしている場合は、補助対象にならない。タケノコ除伐も補助対象にしたかどうか。

質問 竹の侵入を防ぐのに、深さ60cm以上の溝を掘るのが有効と聞くが、そのほかの知見があれば聞く。

質問 竹の侵入を防ぐのに、深さ60cm以上の溝を掘るのが有効と聞くが、そのほかの知見があれば聞く。

質問 竹の侵入を防ぐのに、深さ60cm以上の溝を掘るのが有効と聞くが、そのほかの知見があれば聞く。

質問 竹の侵入を防ぐのに、深さ60cm以上の溝を掘るのが有効と聞くが、そのほかの知見があれば聞く。

質問 竹の侵入を防ぐのに、深さ60cm以上の溝を掘るのが有効と聞くが、そのほかの知見があれば聞く。



質問 竹の侵入を防ぐのに、深さ60cm以上の溝を掘るのが有効と聞くが、そのほかの知見があれば聞く。

質問 竹の侵入を防ぐのに、深さ60cm以上の溝を掘るのが有効と聞くが、そのほかの知見があれば聞く。

質問 竹の侵入を防ぐのに、深さ60cm以上の溝を掘るのが有効と聞くが、そのほかの知見があれば聞く。

質問 竹の侵入を防ぐのに、深さ60cm以上の溝を掘るのが有効と聞くが、そのほかの知見があれば聞く。

質問 竹の侵入を防ぐのに、深さ60cm以上の溝を掘るのが有効と聞くが、そのほかの知見があれば聞く。

スマホ教室の開催を

答 関係者と相談し検討

唐澤 健 議員

質問 議会だよりの9月号で紹介しました携帯ショップの方は「基本講座」のお手伝いをしたいと言っています。スマホ教室を実施してはどうか。

質問 議会だよりの9月号で紹介しました携帯ショップの方は「基本講座」のお手伝いをしたいと言っています。スマホ教室を実施してはどうか。

質問 議会だよりの9月号で紹介しました携帯ショップの方は「基本講座」のお手伝いをしたいと言っています。スマホ教室を実施してはどうか。

質問 議会だよりの9月号で紹介しました携帯ショップの方は「基本講座」のお手伝いをしたいと言っています。スマホ教室を実施してはどうか。

質問 議会だよりの9月号で紹介しました携帯ショップの方は「基本講座」のお手伝いをしたいと言っています。スマホ教室を実施してはどうか。



活水器

井戸水源に活水器設置を

答 効果に確信持てない

質問 井戸水源に活水器設置を

質問 井戸水源に活水器設置を

質問 井戸水源に活水器設置を

質問 井戸水源に活水器設置を



質問 議会だよりの9月号で紹介しました携帯ショップの方は「基本講座」のお手伝いをしたいと言っています。スマホ教室を実施してはどうか。

質問 議会だよりの9月号で紹介しました携帯ショップの方は「基本講座」のお手伝いをしたいと言っています。スマホ教室を実施してはどうか。

質問 議会だよりの9月号で紹介しました携帯ショップの方は「基本講座」のお手伝いをしたいと言っています。スマホ教室を実施してはどうか。

質問 議会だよりの9月号で紹介しました携帯ショップの方は「基本講座」のお手伝いをしたいと言っています。スマホ教室を実施してはどうか。

質問 議会だよりの9月号で紹介しました携帯ショップの方は「基本講座」のお手伝いをしたいと言っています。スマホ教室を実施してはどうか。

新事業を活用しての公園整備の検討を

答 古い公園の改修は必要と承知している

堀本 丈文 議員



質問 令和6年度予算における、各区からの村への土木申請にて、公園整備に関連しての要望はあったでしょうか。

建設環境課長 「りんごっ子公園」の遊具改修についての申請がされています。

質問 是非とも申請内容を検討の上、新年度予算計上を願うところでございます。

そこで、信濃毎日新聞11月12日付1面に、興味深い記事が掲載されていました。

質問 子育て世帯のお母さんと話す機会があり「休日に保育園遊具を使用できないか」と質問されました。明確な回答ができませんでしたが、施設されているようですが、どうでしょうか。



質問 転入世帯も増えています。周知を考えて欲しい。

子ども課長 子育て世帯に、使用について周知をしたいと思います。

これを機会に「野球」を楽しむイベントを
答 野球関係者の協力が無いと難しい可能とすれば「夏休み」でもウィークか



質問 11月9日、大谷選手からインターネット上にて、野球を子供達に楽しんでも欲しいと思っている大人には、大変に嬉しい発表がありました。「野球しようぜ」という言葉と共に、大谷選手から小学校にグローブが配られるものです。辞退せずに受け取って欲しい。

加齢性難聴に補聴器購入補助を

答 前向きに検討したい

前沢 光昭 議員



購入するには高価な補聴器

質問 補聴器の購入補助の質問については、今回で3回目。前回質問以後も住民から「うちの家族も難聴から徐々に認知症になった。購入補助がほしい」との声も寄せられました。

認知症は早期に気が付くことと、対策が重要だ。認知症の早期発見の手立ては、健康福祉課長 村では、実態の把握や、調査は行っていないため、正確にはわからない。

質問 認知症検査というチェックの診察もあ

い。法律で保険者に特定検診の義務が課され、市町村には特定保健指導実施の義務も課された。

特定検診については聴力検査は対象とされてないため、今後も聴力検査を加えることは難しい。加齢性難聴者数は要介護認定において調査員が行う評価では7、8割の人に難聴傾向があると認識している。



※他に「省エネ推進とその手立て」について質問しました

若い世代の多様な働き方の支援は

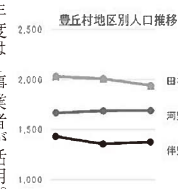
答 企業内の人材開発や創業を支援

壬生真由美 議員



質問 産前産後から子育て・教育、引きこもり、高齢者福祉まで、豊丘村独自の切れ目のない細かな施策や支援、取り組み姿勢を伺いました。「暮らしやすさ」に加えて住宅取得に係る補助事業などの成果で、豊丘村の人口減少は、推計より緩やかです。一方、進学で村外に出た若者は戻らない。特に女性は転出超過です。暮らしやすさと並んで多様な働き方の支援が大切。どのような支援が可能か伺いたい。

副村長 人材開発支援事業は村内の事業者を対象に経営者や従業員が行う研修や資格取得に向けた講習に係る費用の2/3を補助。昨年度では6事業者、23人が活用された。創業支援事業では、事業所の開設費用や機械、備品等の購入、法人設立に係る費用全体の1/2を補助するもので、昨



住宅新築・改築補助金活用者 R4実績内訳	村外から転入	村内転居
	24軒70人	11軒33人

地域おこし協力隊 退任後の状況は 居住支援に注力

質問 村には平成23年度から39名の地域おこし協力隊の方が来られています。現在、豊丘村に住まわれている方の状況を伺いたい。

副村長 現協力隊員が7名、退任者が15名、合計22名が住まわれています。

退任者15名の内訳は、農業研修生5人の方は農業に、それ以外の方10人は起業による自営業や、会社員として定住されている。

質問 協力隊退任者には村に地縁が無い。住

質問 山間地区の人口減少、高齢化は深刻で、世帯数は堀越、佐原、福島、壬生沢の4地区では100を切っています。中山間地域の集落を維持するために必要なサービスを実現できる人材を協力隊、Uターン、Iターンで募集してはどうか。地区の人々が参画して、具体的な事柄をいくつか絞って募集し、着任した隊員と共に考え、サボートしながら地区の「一員」として暮らすこと

答 課題が多いが検討したい

とについてはどうか。総務課長 有効な方法だが、人材の確保、地域との関係はどう構築していくのか、任期満員の隊員の生計維持など課題が多い。飯田市の事例もあるので、山間地区の課題として検討したい。

意見 「暮らしやすさ」には隣人との距離感も関係がある。「十人十色を取り戻す」（中学生の意見発表）個性を認め合う社会が真に暮らしやすい社会になるのでは。

地区別世帯数 R5.11.1

堀越	60
壬生沢	52
河野	547
田村	654
佐原	61
林里	180
林里木門	122
河野	482
福島	60

傾向：村内世帯分離で住宅新築転入世帯の3割が結婚で村外転出後 下段に住宅新築で転入

多面的機能支払交付金制度 3期目の継続は

答 良い制度であり継続して行きたい

武田 徹 議員



質問 多面的機能支払交付金制度は、平成26年から始まった交付金制度で、1期を5年とし本年度まで2期目の最終年度を迎える。この10年間の効果、評価は。

副村長 豊丘村では1期目から村全体で広域活動組織として活動しており、各区での井汲い道つくりの出発報酬、簡易的な水路改修、1件200万円以下の水路改修を行っています。水路等の維持管理は地元をお願いしており、地元としても効果は大きく、今後とも必要な交付金と考えています。

質問 この事業を進めるに当たって何か課題となっていることはないか。

副村長 当初は問題が山積することもありましたが、2期目の最終年度を迎え順調に行えるようになってきています。交付金について



水路等維持管理に生かされる交付金

は、その使用明細や領収書、写真等の書類が必要となります。地区で担当者が変わった場合でも、農政係に相談頂き、不備の無いようしっかりと行っています。

質問 来年3月で、2期目の最終を迎えるが、この制度の3期目、4期目の計画はどうなっているか。また、制度変更等はないか。

副村長 極めて有効で、貢献があると感じています。

質問 村道佐原線の道路改良工事が、現在順調に進められている。次の工区の発注準備も進められているが、地元から安全対策に要望が出されているとお聞きしているがその内容は。

建設環境課長 この工事を行っている林里木門地区には「佐原線対策委員会」が設置され、速度規制、通学歩行者の安全確保に関する協議を頂いています。委員会からは、速度規制、歩行者の安全確保に重点を置いて工事を行うよう要望があります。また、住民の方からも同様の要望が出されています。

質問 検討が進められていると思うが、今後の対応はどう考えているか。

建設環境課長 夜間の安全対策について、地元と協議する中で検討したい。

佐原線改良工事に対する要望は 答 地元対策委員会と充分協議

質問 村道佐原線の道路改良工事が、現在順調に進められている。次の工区の発注準備も進められているが、地元から安全対策に要望が出されているとお聞きしているがその内容は。

建設環境課長 この工事を行っている林里木門地区には「佐原線対策委員会」が設置され、速度規制、通学歩行者の安全確保に関する協議を頂いています。委員会からは、速度規制、歩行者の安全確保に重点を置いて工事を行うよう要望があります。また、住民の方からも同様の要望が出されています。

質問 検討が進められていると思うが、今後の対応はどう考えているか。

建設環境課長 夜間の安全対策について、地元と協議する中で検討したい。



令和5年11月14日
松川町中央公民館
にて開催
下伊那北部ブロック町村
議会総会（詳細は20ページ
を参照）

議会活動

「クリーン運動・ゴミ分別所」を運営
併せて「みんなのこえステーション」
を開設 ～令和5年11月11・12日

第34回とよおかまつり～
（詳細は右ページをご覧ください）



令和5年から令和6年へ



どんと焼きのおんべ作りもみんなの手で
（伝統を継承する 市ノ沢・寺垣外子ども会）

年の始め 村内みてある記



一年の願いを込め（河野大宮神社）

来年度予算を審議

令和6年3月定例会は3月1日（金）
9:00～開会（予定）
一般質問、予算決算委員会等傍聴
にお出かけください。

子育て支援センターのトイレに
ベビーキープをつけてほしい...
などなど

寄せられたご意見の調査を開始
「みんなのこえステーション」

広報広聴特別委員会委員長 平澤 恒雄

とよおかマルシェのレストランは、できれば予約で夜の営業もしていただきたい。

会所の玄関の入口マットは年寄りには足が危ない。今の時代アスファルトなので土や泥は付かないから。

高齢化で井水の管理が大変になっている。いい方法はないでしょうか？

働く場所が欲しい。

中平自治会。雪かきが出来なくなってきたので考えてください。買入物ができない人が多くなってきたので考えてください。

総務課・税務会計課・建設環境課・産業振興課に係わるご意見

このような楽しい祭りがあってうれしい。これからも続けて欲しい。

役場から区へ仕事をまわしすぎないでほしい。

中学校の通学路の場所に歩道を付けて欲しい。

通学路に信号機をもう少し増やしてほしい。

村からのお知らせが1回だけでは聞き逃す。

一貫道の明かりが暗い。

環境問題（竹林、山林、獣害、異常気象など）の対応が気になる。

リターン就職、転職で帰ってきてても給料が低いところが多くて、実家を建て直す費用を貯められない。

第34回とよおかまつりにおいて、豊丘村議会では、役場玄関前で「クリーン運動・ゴミ分別所」を担うと共に、「みんなのこえステーション」を設け、皆様からの意見をお聴きしました。総務産建・社会文教の両常任委員会で分担し、調査検討を行っています。寄せられましたご意見を紹介します。（意見は、ほぼ原文のまま）



社会文教委員会を担当
教育委員会、健康福祉課・建設環境課に係わるご意見

ゆうぐ（遊具）をもっとふやしてほしい

リニアを使った都心大学への通学補助、今から基金を積んでいく

豊丘中学校の前の階段をキレイにして欲しい。

北保育園の駐車場を中央保育園のように広くして欲しい。またはラウンド型で一通のようにしていただきたい。

支援センターのトイレにベビーキープを付けて欲しい。子供を抱っこしたままのトイレは大変だ。

軽度の障がいやグレーゾーンの子どもはとも微妙な立場で、思春期に柔軟な対応をしても見えないところの学習、家族の休息のためのショートステイなど。

畑の体験を授業で行って欲しい。

村内で取れた野菜や米を、もって給食に取り入れて欲しい。

山間部に住んでいるが、高校生など学校の送迎が大変です。バスやタクシーなど何か利用できると助かります。

給食費を全額補助して欲しい。

ふるさとに癒やされた日々 定年帰郷後地域への恩返しを

上佐原 小池光好さん



ご自宅の前で

公民館報連載記事
「歌は世につれ」を担当されている方のお一人、小池光好さんにお話を伺いました。

〈都会での生活とふるさとへの思いは〉
1973年（昭和48年）大学進学を機にふるさとを離れました。1978年杉並区役所に入庁。建築確認・許可、都市計画、防災まちづくり、長期優良住宅認定などを担当。営繕への異動希望はかなわず定年を迎え、2015年に帰郷しました。

社会人になった当初は電車で、5月の連休・お盆・お正月の3回程度しか帰省できず「ふるとは遠いなあ」と感じていました。東京に戻るときはいつも感傷的になり、後ろ髪をひかれる思いでした。ふるさとに癒され和まされていたと思います。

1995年に実家をログハウス（ポスト&ビーム）に建て替え、ほぼ毎週帰省するようになり、以前のような郷愁は薄れていきました。その頃から守るべきもの（家・母・自分の気持ち）があるのだと、帰郷を強く意識し始めました。

〈帰郷当時から今日まで感じることは〉

帰郷の際意識したのは、独居老人だった母が地域の方々にお世話になったので「地域の役に立ちたい」ということでした。お誘いを受け、長男会（地域の行事・事業の協力、竹林整備・支障木伐採）、森林人の会（炭焼き、薪作り、もち米作り）に入会しました。現在は、長男会、森林人の会、隣組長（8年目）、自主消防（4・5年目）、サロン佐原の事務局（1年目）、公民館関係では分館長（8年目）、

本館社会部（6年目）、公民館報編集委員（5年目）を務めさせていただいています。また、上佐原の片桐秀幸さんが主体で行っている門松づくりを手伝っています。

帰郷してよかったなあと思っているのはきのこ採り（豊作の年は毎日）と、スキー（日帰りで毎週行ける）です。里山歩きが身近で気軽にできるのもうれしいです。

大変だと思うのは草刈りです（勤めながら4・5回も草刈りをされている方には感謝します）。地域の景観のためと思い、頑張っています。作業の担い手が減少していく中で、どうやって地域の景観を維持し、伝統行事を継承していくのが課題と考えます。地域への恩返しという気持ち忘れずに気張れる限り気張りたいと思います。

編集後記

◎コロナの感染が5類に移行する中、住民の会話も活気がなく、湿りがちで原因は松茸の不作かな？

◎でも、「とよおかまつり」は近年にないほどの大盛況であった。

祭り会場では天候に恵まれ、住民の方々の会話にも活気が感じられ、徐々に本来の生活環境に近づいてきた。

◎村内で大規模な山火事発生。消防ヘリの出動があったが、鎮火まで3日かかった。地区の方や消防団員の方、村職員の方、大変お疲れさまでした。

皆が火気には注意を払い、火災を起こさない様に努めましょう。

（井原康明）

発行責任者

議長 片桐 忠彦
広報部会

部長 壬生眞由美
副部長 堀本 丈文
部員 武田 徹
部員 酒井 浩文
部員 唐澤 健
部員 井原 康明



豊丘議会だより
第106号 12月定例会
令和6年1月20日

発行／長野県豊丘村議会
編集／広報広聴委員会広報部会
印刷／龍共印刷株式会社

豊丘村議会

検索

〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村大字神郷3120番地
TEL.0265-35-9063 FAX.0265-35-8355
Eメールアドレス gikai@vill.nagano-toyooka.lg.jp